

平成26年度第1回 岡山県急性心筋梗塞医療連携体制検討会議

日 時:平成26年7月1日(火)

18:00~19:30

場 所:ピュアリティまきび3階「飛鳥」

次 第

1 開 会

2 報告事項

- ・ 心臓病県民公開講座の開催報告について (P 1~5)
- ・ 日本循環器学会市民公開講座の広報について (P 6)
- ・ パス届出医療機関数の推移について (P 7~10)

3 議 題

(1) 「安心ハート手帳」の運用評価及び見直しについて (P 11~21)

- ・ アンケート回収結果について

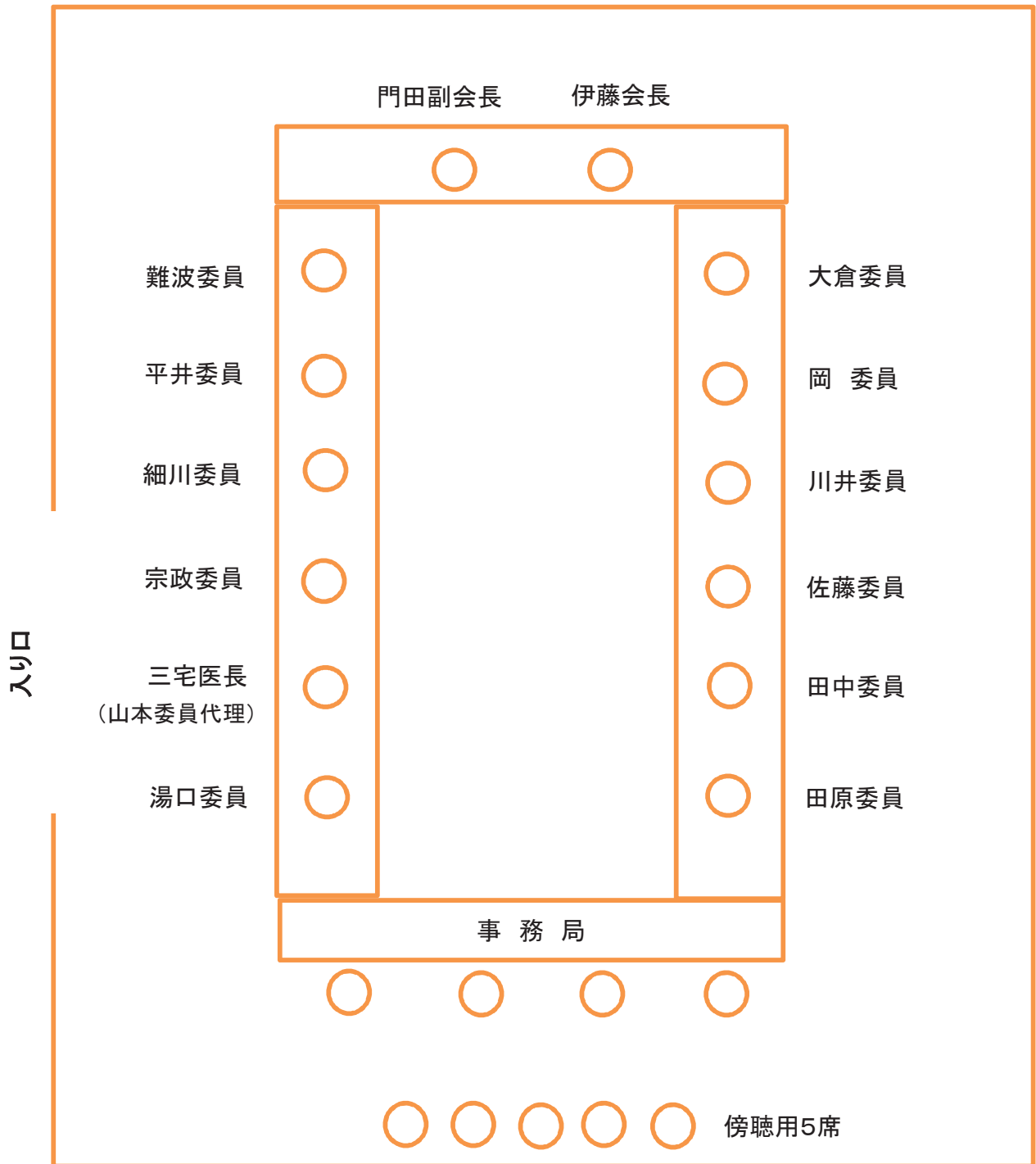
(2) その他

4 閉 会

平成26年度 第1回岡山県急性心筋梗塞医療連携体制検討会議 席表

日時:平成26年7月1日(火)18:00~19:30

場所:ピュアリティまきび 3階「飛鳥」



平成26年度第1回 岡山県急性心筋梗塞医療連携体制検討会議 出席者名簿

(委員)

所 属・職 名	氏 名	備考
岡山大学病院 循環器内科教授	伊 藤 浩	
川崎医科大学附属病院 循環器内科副部長	大 倉 宏 之	
津山中央病院 循環器科部長	岡 岳 文	
岡山県薬剤師会副会長	小笠原 加 代	欠席
倉敷中央病院心臓病センター 循環器内科主任部長	門 田 一 繁	
岡山県備北保健所 所長	川 井 睦 子	
総合病院岡山赤十字病院 循環器内科部長	佐 藤 哲 也	
岡山県医師会 理事	田 中 茂 人	
日本健康運動指導士会 岡山県支部長	田 原 秀 二	
岡山県病院協会 会長	難 波 義 夫	
岡山県看護協会 常務理事	平 井 康 子	
国立病院機構岡山医療センター 栄養管理室長	細 川 優	
国立病院機構岡山医療センター 循環器科医師	宗 政 充	
心臓病センター榊原病院 内科医長	三 宅 祐 一	山本桂三委員の代理
岡山県理学療法士会	湯 口 聡	

(五十音順)

(事務局)

所 属・職 名	氏 名	備考
岡山県保健福祉部医療推進課 課長	則 安 俊 昭	
岡山県保健福祉部医療推進課 総括副参事	高 原 典 章	
岡山県保健福祉部医療推進課 主任	国 定 優 次	
岡山県保健福祉部医療推進課 主任	土 橋 酉 紀	

心臓病(急性心筋梗塞)県民公開講座 実施報告

1. 開催日時 平成25年11月10日(日)13:30~15:30
2. 開催場所 倉敷市民会館ホール
3. 参加者 482人
4. アンケート結果 (回答数: 409人)

(1) 性別、年齢

単位: 人、()内は年齢比率%

	男性	女性	性別不明	合計
10歳代	—	1	—	1 (0.2)
20歳代	5	16	—	21 (5.1)
30歳代	3	17	—	20 (4.9)
40歳代	5	23	—	28 (6.8)
50歳代	28	27	—	55 (13.5)
60歳代	53	71	—	124 (30.3)
70歳代	54	66	1	121 (29.6)
80歳代	20	11	—	31 (7.6)
90歳代	—	—	—	0 (0)
年代不明	4	3	1	8 (2)
	172 (42%)	235 (57%)	2	409 (100)

(2) 本講座のわかりやすさはいかがでしたか？

項目	人数	割合(%)
①わかりやすかった	371	90.7
②ふつう(どちらでもない)	15	3.7
③難しすぎて分かりにくかった	0	0
④不明	23	5.6
合計	409	100

(3) 本講座は今後のあなたの生活習慣を見直すヒントになりましたか？

項目	人数	割合(%)
①なった	389	95.1
②ならない	3	0.7
③不明	17	4.16
合計	409	100

(4) 本講座をどのようにして知りましたか？（複数回答）

項目	人数
①新聞	138
②テレビ・ラジオ	2
③チラシを見た	143
④インターネット(ホームページ)	12
⑤雑誌や広報誌の紙面	17
⑥家族や知人から教えてもらった	64
⑦病院のスタッフから教えてもらった	50
⑧当日たまたま立ち寄った	0
⑨その他 老人クラブからの案内（5人） 倉敷中央病院のモニターで見た（7人） OSKスポーツジムでの案内（4人） 他	32

(5) あなたはなぜ本講座に参加しようと思いましたが？（複数回答）

項目	人数
①自分が心臓病(急性心筋梗塞)を患ったことがあるから	86
②家族や知人が心臓病(急性心筋梗塞)を患ったことがあるから	224
③心臓病(急性心筋梗塞)や健康について興味があったから	233
④興味はなかったが家族や知人に誘われたから	15
⑤医療に携わる仕事をしているから	59
⑥その他	39
⑦不明	5

※ ⑤の回答者の職業。()は人数

医師(1)、歯科医師(1)、看護師(14)、管理栄養士(16)、臨床検査技師(1)、理学療法士(4)、保健師(1)、ケアマネージャ(2)、介護福祉士(2)、医療事務(1)、消防職(救急隊)(1)、ステント製造開発(3)、医薬品会社勤務(4)、医学生(1)、行政(1) 他

※ ⑥その他の理由

- ・不整脈があるから (9)
- ・現在何となく息を吸うのに胸が苦しいから (3)
- ・自身脂質異常があるとされたから (1)
- ・不整脈でペースメーカーを装着しているから (2)
- ・左右脚不完全ブロックの改善のヒントがあればと思ったから (1)
- ・脳梗塞の治療中だから (1)
- ・一人暮らしのため知識を得たかったから (1)
- ・福祉に携わる仕事をしているため、知識として知っておきたいから (1)
- ・運動施設に勤務しているから (1) 他

(6) 今回の本講座についての感想

- ・地域連携パスが完成して活用していると聞き、安心して生活できると思いました。関係各先生方の努力に感謝します。(看護師)
- ・高齢の患者さんが多い病院に勤務しているので、患者さんへの関わり方について(データの事、生活の事、指導の必要性など)参考になりました。(看護師)
- ・食事療法を再確認することが出来たので、栄養指導にも活かしたいと思います。普段聞く機会のないリハビリの方の話も聞いて勉強になりました。(管理栄養士)
- ・これから、心臓リハビリの勉強をしていきたいです。(理学療法士)
- ・利用者様家族に具体的に説明をしなければならず、分かり易い言葉を探していました。最高に参考になりました。(ケアマネージャー)
- ・救急搬送に携わるので、自己レベルアップ、救急搬送の質の向上に少しでもつながればと思い参加しました。搬送するには、色々病気の事をよく理解しないといけないと気づかされました。これから、もっと勉強します。(救急隊)
- ・医療に関わる看護師は、患者さんに病気について分かり易く説明しないといけないので、公開講座はとても参考になりました。(看護学生)
- ・シリーズ化にして、継続して欲しいです。
- ・心臓病は沢山あると思いますので、その他の心臓病についての講演があれば、またの機会に話を聞かせてほしいです。
- ・各テーマにより、時間でしぼってそれぞれの先生方がお話して下さったので、理解しやすかったです。初の参加でしたが、次回も参加したいです。
- ・食事療法、運動療法、リハビリ等のお話し、再確認し、大事な事よく分かりました。
- ・岡山県は医療連携パスをやっていることを、初めて知りました。
- ・岡山 倉敷は医療設備が充実した町で、安心して暮らせるというのを確認しました。
- ・広く県民へ情報発信ができ、健康寿命日本一の岡山の実現を目指したいですね。
- ・心臓リハビリについては新しい知識でした。
- ・自分の心臓の状態についてはよく分からないので、人間ドックでCT検査を試してみようと思いました。また平素の運動を続けてやります。
- ・心筋梗塞の治療には、早期治療+リハビリ(運動、食事)が大切だということが、分かりました。
- ・身近に心臓病の人があまりいないので、治療や症状のことが分からなかったが、勉強になりました。また連携パスのことも知れて良かったです。
- ・一般的な知識は普及してきているので、もう少し専門的でも良かったように思います。でもわかりやすかったです。
- ・生活を見直さなければと思いました。
- ・特に高齢者には、今回のような講演は大変役立ちます。心臓病以外の病気の対策についても開催してほしいです。
- ・今後も講演があったら参加したいですが、がん、骨粗しょう症、認知症についての講演もして欲しいです。
- ・教えてもらった体操は続けていこうと思います。
- ・サルコペニアについて、もっと知りたいです。
- ・不整脈についても知識が欲しいです。
- ・県全体で取り組んでいるのは、とても画期的だと思います。
- ・県下どの地域でも同じ治療が受けれることはとても大事だと思います。
- ・ハートフルウォーキングは、素晴らしい企画だと思います。
- ・広島県から参加しましたが、大変勉強になりました。
- ・無理せず適度な運動をすることが大事だということが良く分かりました。
- ・座長の伊藤先生、司会の佐藤先生の語り口がソフトで講演全体が親しみやすい雰囲気になったのがよかったです。
- ・すごい先生方の講義がまとめて聞くことが出来て良かったです。
- ・お医者さんが近づいてくださったようで、とても嬉しかったです。

- ・質疑応答が良かったです。
- ・業種は全く違いますが、県内「情報・データの共有ネットワーク」のことには感心しました。参考(見本)にさせていただきます。
- ・以前岡山で心臓病の講座を聞きましたが、難しく理解できませんでしたが、今回は分かり易かったです。
- ・栄養講座では、カロリー制限(脂肪の質が大切)やバランスのよい食事についてより、日常生活に沿った内容だと分かり易かったと思います。時間の関係もありますが、分かっている内容(塩分について)が多く、知りたい内容が簡単に終わってしまった。せっかく講座で聞けず、パンフレットで分かること以外の内容が良かったです。
- ・栄養についての、献立メニュー例の資料があれば良かったです。
- ・先生方のお話しはとても参考になりましたが、患者さん側が気を付けていることの声も聞いてみたいです。
- ・素人によく分かるように、スライドにあることを、レジメにして配布してほしかったです。
- ・予約の人だけでなく、当日の人にも冊子を配って欲しかったです。
- ・狭心症と心筋梗塞の違いの説明が無かったのでして欲しかったです。
- ・もう少し質問に対する具体的な説明をして欲しかったです。
- ・質問方法をマンツーマン方式にしてほしかったです。
- ・参加者に60代以上の方が多くようですが、できれば40、50代の方の参加が多ければ予防という点でより良かったと思います。
- ・医療用語は難しく分からなかったりするので、一般の人が聞いていて理解できる言葉で話してほしいです。
- ・もう少し、PRを色んな所でされたら良かったのでは？ 沢山の人が聞く価値のある深い内容だったので、もう少し集客出来たら良いのと思いました。
- ・医療機関の数は平等にという訳にはいきませんが、全国どこでも安心して高度な治療が出来る様になればと思います。
- ・人間ドックで頭のMRI、体の中のMRI又はCT検査が安価に出来るようになればありがたいと思っています。(オプションで結構ですが)
- ・救急車がすぐ来て、断らずに病院に運んでくれたらよいなと思います。
- ・同じ検査を総合病院とかかかりつけ医で行われ医療費が高額になり、病院に行くことをためらってしまうことがあります。
- ・地域差が目立つような気がしますので、高齢化と一人世帯の問題もクリアにして行きましょう。安心・安全と働きやすい環境づくりを県で取り組んで下さい。

心臓病(急性心筋梗塞)県民公開講座 放送日時

	CATV局名	放送日時	
1	岡山ネットワーク	12/01(日) 17:00~	2時間
2	倉敷ケーブルテレビ	12/06(金) 17:00~ 13(金) 17:00~ 20(金) 17:00~ 27(金) 17:00~	2時間
3	テレビ津山	12/09(月) ~ 15(日) リピート7回放送	2時間
4	みさきタウンテレビ ジョン	12/09(月) 15:30~ 10(火) 8:00~ 11(水) 20:00~ 23:00~ 12(木) 20:00~ 23:00~ 30(月) 18:00~ 21:00~ 31(火) 21:00~	2時間
5	吉備ケーブルテレビ	12/15(日) 14:00~ 22(日) 14:00~	2時間
6	日生有線テレビ	12/21(土) 19:00~ 22(日)まで リピート6回放送	2時間
7	井原放送	12/23(月) 18:00~ 20:00~ 22:00~	2時間
8	矢掛放送	12/23(月) 9:00~ 16:00~ ほか年末年始に数回放送	2時間
9	鏡野町有線テレビ	12/27(金) 18:00~ 21:00~ 28(土) 6:00~ 9:00~ 12:00~ 15:00~ ほか年末に数回放送	2時間

第104回日本循環器学会中国・四国合同地方会

市民公開講座

日時 2014年7月19日(土) 14:00-16:00

会場 岡山コンベンションセンター
3F コンベンションホール

入場無料
先着**500名**

どなたでも参加可能です。
当日は直接会場に
お越しください。

心筋梗塞に ならないために

座長:伊藤 浩 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 循環器内科学
岡 岳文 津山中央病院 循環器科

本当は怖い心臓病

講師:伊藤 浩
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 循環器内科学

心筋梗塞はどんな病気?: どんな症状、どう治療する?

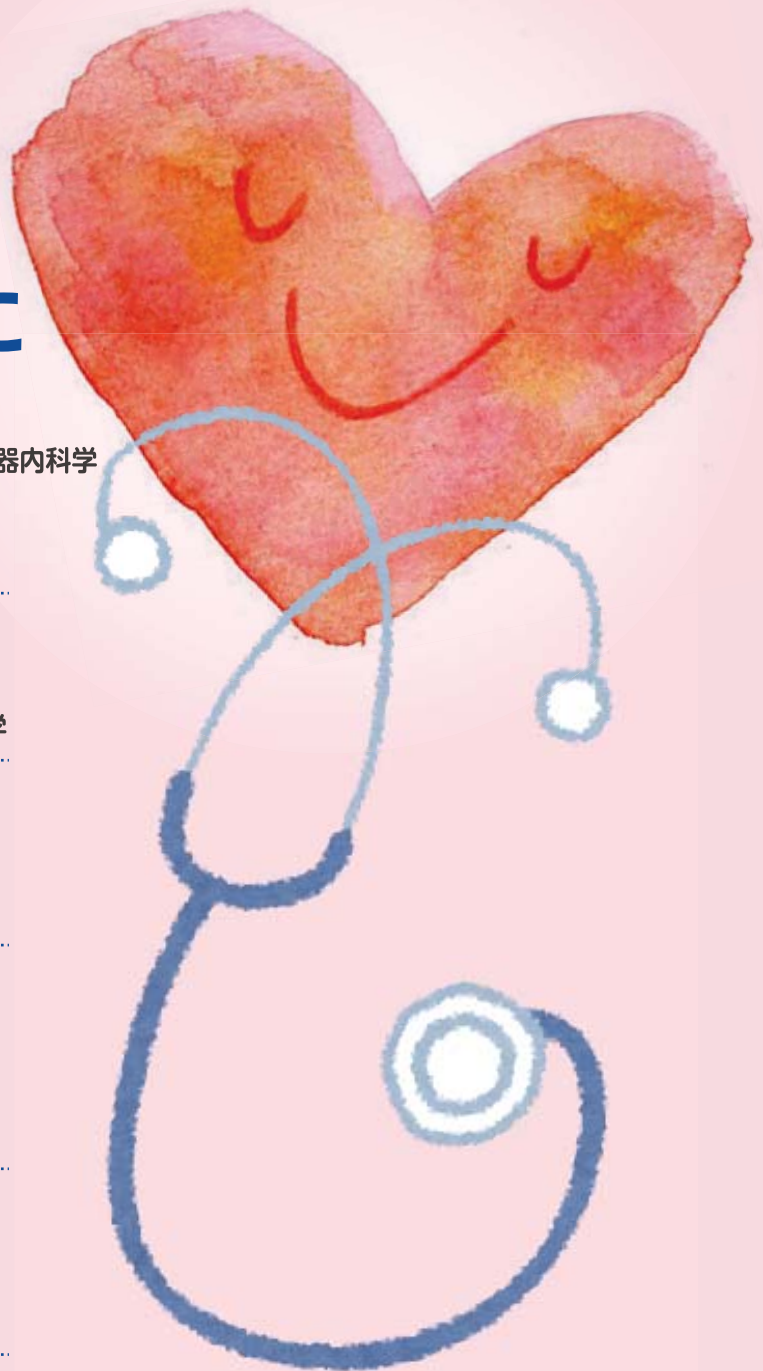
講師:門田 一繁 倉敷中央病院 循環器内科

運動量について: 健康増進のための運動

講師:湯口 聡
心臓病センター榊原病院 理学療法士

なっても安心、 急性心筋梗塞地域連携パス

講師:岡 岳文 津山中央病院 循環器科



主催:日本循環器学会中国支部

後援:岡山県、岡山市、岡山県医師会、岡山市医師会、岡山県看護協会、岡山県栄養士会、岡山県薬剤師会、岡山県病院薬剤師会

[お問い合わせ] 第104回日本循環器学会中国・四国合同地方会 運営事務局

株式会社メッド TEL: 086-463-5344 FAX: 086-463-5345 E-mail: jcs-cs104@med-gakkai.org

急性心筋梗塞医療連携パス 届出医療機関数の推移

	H25.4.1	H25.7.1	H25.10.1	H26.1.7	H26.4.1	H26.6.25
南東部	25	37	45	52	60	66
南西部	10	16	30	35	38	41
高梁・新見	3	3	6	6	6	6
真庭	2	2	2	3	3	3
津山・英田	2	6	16	20	21	24
計	42	64	99	116	128	140

急性心筋梗塞医療連携パス届出医療機関

番号	医療圏	医療機関名	所在地
1	県南東部	一般財団法人淳風会 旭ヶ丘病院	岡山市
2		医療法人成和会 粟井内科診療所	岡山市
3		池上医院	岡山市
4		医療法人洗和会 井上内科小児科医院	岡山市
5		井村医院	岡山市
6		医療法人知誠会 岩藤胃腸科・外科・歯科クリニック	岡山市
7		内科・循環器内科 氏平医院	岡山市
8		医療法人ふたば会 うちおグリーンクリニック	岡山市
9		医療法人 岡田内科	岡山市
10		医療法人 岡村一心堂病院	岡山市
11		独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター	岡山市
12		医療法人自由会 岡山光南病院	岡山市
13		岡山医療生活協同組合 総合病院岡山協立病院	岡山市
14		社会福祉法人恩賜財団 岡山済生会総合病院	岡山市
15		地方独立行政法人岡山市立総合医療センター 岡山市立市民病院	岡山市
16		日本赤十字社岡山支部 総合病院岡山赤十字病院	岡山市
17		医療法人社団操仁会 岡山第一病院	岡山市
18		国立大学法人岡山大学 岡山大学病院	岡山市
19		社会医療法人鴻仁会 岡山中央病院	岡山市
20		岡山みなみクリニック	岡山市
21		医療法人五尽会 岡山ハートクリニック	岡山市
22		独立行政法人労働者健康福祉機構 岡山労災病院	岡山市
23		一般財団法人操風会 岡山リハビリテーション病院	岡山市
24		医療法人社団 かとう内科並木通り診療所	岡山市
25		かりや内科	岡山市

番号	医療圏	医療機関名	所在地
26	県南東部	学校法人川崎学園 川崎医科大学附属川崎病院	岡山市
27		医療法人一進会 河合外科	岡山市
28		医療法人 川村医院	岡山市
29		医療法人天成会 小林内科診療所	岡山市
30		医療法人健朋会 佐々木医院	岡山市
31		社会医療法人社団十全会 心臓病センター榊原病院	岡山市
32		医療法人創和会 重井医学研究所附属病院	岡山市
33		医療法人 せとうちクリニック	岡山市
34		医療法人清屋会 高屋クリニック	岡山市
35		谷野内科循環器科クリニック	岡山市
36		医療法人若樹会 辻医院	岡山市
37		辻クリニック	岡山市
38		医療法人 中村医院	岡山市
39		ながい内科クリニック	岡山市
40		医療法人経和会 難波医院	岡山市
41		脳神経外科・内科 眞壁クリニック	岡山市
42		医療法人隆和会 畑クリニック	岡山市
43		医療法人 原医院	岡山市
44		医療法人 深井医院	岡山市
45		医療法人社団 福島内科医院	岡山市
46		藤本循環器内科クリニック	岡山市
47		伏見医院	岡山市
48		医療法人社団 瀧本医院	岡山市
49		医療法人まえた診療所	岡山市
50		松本医院	岡山市
51		ムネトモクリニック	岡山市
52		医療法人みさお 湯原内科医院	岡山市
53		医療法人 渡辺医院	岡山市
54		医療法人朋友会 渡辺内科	岡山市
55		医療法人 井上内科医院	玉野市
56		医療法人社団恵誠会 大西病院	玉野市
57		医療法人 近藤医院	玉野市
58		玉野三井病院	玉野市
59		医療法人いずみ会 三宅内科外科医院	玉野市
60	医療法人不老会 小林クリニック	備前市	
61	備前市国民健康保険市立備前病院	備前市	
62	備前市国民健康保険市立吉永病院	備前市	
63	瀬戸内市立瀬戸内市民病院	瀬戸内市	
64	医療法人仁生会 長田医院	瀬戸内市	

番号	医療圏	医療機関名	所在地
65	県南東部	医療法人 那須医院	瀬戸内市
66		医療法人 平病院	和気町
67	県南西部	医療法人 イマイクリニック	倉敷市
68		医療法人王慈会 王子脳神経外科医院	倉敷市
69		医療法人 おか内科耳鼻科	倉敷市
70		学校法人川崎学園 川崎医科大学附属病院	倉敷市
71		医療法人 かわたクリニック	倉敷市
72		医療法人誠和会 倉敷記念病院	倉敷市
73		医療法人和香会 倉敷スイートホスピタル	倉敷市
74		一般財団法人淳風会 倉敷第一病院	倉敷市
75		公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院	倉敷市
76		医療生協 コープくらしき診療所	倉敷市
77		医療法人創和会 しげい病院	倉敷市
78		医療法人高志会 柴田病院	倉敷市
79		柴田内科胃腸科医院	倉敷市
80		医療法人社団河合会 新倉敷胃腸肛門外科内科	倉敷市
81		医療法人幸伸会 すぎはら眼科・循環器科内科	倉敷市
82		医療法人エム・ピー・エヌ 武田病院	倉敷市
83		倉敷医療生活協同組合 玉島協同病院	倉敷市
84		医療法人社団新風会 玉島中央病院	倉敷市
85		公益財団法人弘仁会 玉島病院	倉敷市
86		医療法人和楽会 野上内科医院	倉敷市
87		八王寺内科クリニック	倉敷市
88		医療法人 天和会 松田病院	倉敷市
89		医療法人和葉会 まび記念病院	倉敷市
90		総合病院水島協同病院	倉敷市
91		医療法人水清会 水島第一病院	倉敷市
92		内科・小児科 猪木医院	笠岡市
93		笠岡市立市民病院	笠岡市
94		医療法人社団清和会 笠岡第一病院	笠岡市
95		井原市立井原市民病院	井原市
96		医療法人 清音クリニック	総社市
97		医療法人健奉会 谷向内科	総社市
98		医療法人行堂会 長野病院	総社市
99	医療法人飛翔会 鴨方クリニック	浅口市	
100	医療法人社団同仁会 金光病院	浅口市	
101	医療法人 福嶋医院	浅口市	
102	医療法人 ほかま医院	浅口市	
103	みうら内科循環器科	浅口市	

番号	医療圏	医療機関名	所在地
104	県南西部	小塚医院	矢掛町
105		医療法人正光会 鳥越病院	矢掛町
106		矢掛町国民健康保険病院	矢掛町
107		医療法人慈成会 山縣内科医院	矢掛町
108	高梁・新見	医療法人慶真会 大杉病院	高梁市
109		高梁市国民健康保険成羽病院	高梁市
110		医療法人清梁会 高梁中央病院	高梁市
111		医療法人緑隆会 太田病院	新見市
112		社会医療法人哲西会 哲西町診療所	新見市
113		医療法人社団思誠会 渡辺病院	新見市
114	真庭	医療法人社団井口会 総合病院落合病院	真庭市
115		社会医療法人緑荘会 金田病院	真庭市
116		医療法人かめの子会 米田内科医院	真庭市
117	津山・英田	医療法人 いちば医院	津山市
118		医療法人 井戸内科クリニック	津山市
119		医療法人 おおうみクリニック	津山市
120		医療法人こころ 勝北診療所	津山市
121		医療法人勝北クリニック 勝北すこやかクリニック	津山市
122		一般財団法人津山慈風会 津山中央病院	津山市
123		一般財団法人津山慈風会 津山中央記念病院	津山市
124		津山東クリニック	津山市
125		社会医療法人清風会 津山ファミリークリニック	津山市
126		たまち内科クリニック	津山市
127		中尾内科クリニック	津山市
128		社会医療法人清風会 日本原病院	津山市
129		医療法人 本位田診療所	津山市
130		またの内科循環器科クリニック	津山市
131		青山医院	美作市
132		福井医院	美作市
133		社会医療法人清風会 湯郷ファミリークリニック	美作市
134		一般財団法人共愛会 芳野病院	鏡野町
135		山田医院	鏡野町
136		医療法人 さとう記念病院	勝央町
137	太平台医院	勝央町	
138	社会医療法人清風会 奈義ファミリークリニック	奈義町	
139	秋田医院	久米南町	
140	関医院	美咲町	



医推第 258号
平成26年6月2日

急性心筋梗塞医療連携パス（安心ハート手帳）
届出医療機関の長 殿

岡山県保健福祉部医療推進課長
（公 印 省 略）

「安心ハート手帳」運用に係るアンケート調査の依頼について

保健医療行政の推進につきましては、平素より格別の御理解、御協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、岡山県急性心筋梗塞医療連携パス「安心ハート手帳」の運用開始から1年が経過しました。県では、この取組に御参加いただいた医療機関の先生方に御意見を伺うため、昨年9月に昨年度上半期における運用状況についてアンケート調査を実施しましたが、今回は下半期の状況について把握したいので、同様の内容によりアンケート調査を実施させていただきます。

調査結果は、「安心ハート手帳」の今後の改善に活かしていきたいと考えておりますので、御協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

記

- 1 調査様式 別紙のとおり（調査対象期間以外は、前回から変更ありません）
- 2 回答期限 平成26年6月13日（金）
※お手数ですが、FAXにて下記担当まで送付願います。
- 3 その他
 - ・前回調査の取りまとめ結果を同封していますので、御参照ください。
 - ・「安心ハート手帳」については、以下の県HPをご覧ください。
<http://www.pref.okayama.jp/page/342673.html>
トップページ > 組織で探す > 保健福祉部 > 医療推進課 >
岡山県の急性心筋梗塞医療連携クリティカルパス（安心ハート手帳）

（担当）岡山県保健福祉部医療推進課
疾病対策推進班 国定
TEL：086-226-7321
FAX：086-224-2313

【急性期病院用】

岡山県急性心筋梗塞医療連携パス「安心ハート手帳」 アンケート調査票

医療機関名：
記入者：

岡山県急性心筋梗塞医療連携パス「安心ハート手帳」の運用が、平成25年4月の開始から1年経過しました。「安心ハート手帳」の運用等について先生方のご意見を伺い、今後の改善に活かしていきたいと思っておりますので、御協力の程よろしくお願いいたします。

1. 「安心ハート手帳」の運用実績について

※ 平成25年10月1日～平成26年3月31日の間に新規入院された患者の実績

問1. 貴病院の急性心筋梗塞による入院患者数をご記入ください。 _____人

問2. 問1の入院患者のうち、「安心ハート手帳」の適応症例に該当する対象者がいましたか。

1. いた →問3へ
2. いない }
3. 不明 } →問5へ

※ 「安心ハート手帳」の適応症例（「安心ハート手帳運用マニュアル」より抜粋）

「安心ハート手帳」の適応とする症例は、急性期病院が選定して下さい。
概ね以下に示す症例としています。

- ・重症心不全などの重篤な合併症がなく、標準的な経過をたどると考えられる症例
- ・心臓リハビリテーションが順調に経過した症例
- ・ADLが自立している症例
- ・冠動脈再灌流療法が施行された症例

問3. 問2で「1 いた」を選択した方にお伺いします。

貴病院で「安心ハート手帳」の利用がありましたか。

1. 対象者全員が利用 →問5へ
_____人（うち院外への紹介件数 _____人）
2. 対象者の一部が利用 →問4へ
_____人（うち院外への紹介件数 _____人）
3. 無し →問4へ

2ページ目へ →

問4. 問3で「2 対象者の一部が利用」または「3 無し」を選択した方にお伺いします。

「安心ハート手帳」を利用されなかった主な理由をお聞かせ下さい(2つまで回答可)。

1. 安心ハート手帳のことを知らなかった (院内での周知が図られていなかった)。
2. 使い方がわからなかった。
3. 患者の理解が得られなかった。
4. 忙しくて手が回らなかった
5. 院内に在庫がなかった。
6. その他

()

2. 「安心ハート手帳」の様式について

問5. 「安心ハート手帳」に担当医等が記載する情報量についてお伺いします。

1. 少ない
2. ちょうどよい
3. 多い

問6. 問5でそれぞれ選択された理由をご記入ください。

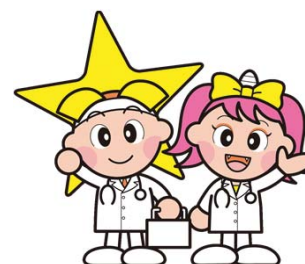
()

3. その他

問7. 「安心ハート手帳」の改善に向けて、何かお気づきの点がございましたら自由にご記入ください。

()

ご協力ありがとうございました。



岡山県急性心筋梗塞医療連携パス「安心ハート手帳」 アンケート調査票

医療機関名：
記入者：

岡山県急性心筋梗塞医療連携パス「安心ハート手帳」の運用が、平成25年4月の開始から1年経過しました。「安心ハート手帳」の運用等について先生方のご意見を伺い、今後の改善に活かしていきたいと思っておりますので、御協力の程よろしくお願いたします。

1. 「安心ハート手帳」の運用実績について
※ 平成25年10月1日～平成26年3月31日の間に新規に発生した実績

問1. 貴医療機関で「安心ハート手帳」の利用がありましたか。

1. 有 _____ 件
2. 無

問2. 問1で「1 有」を選択した方にお聞きします。

連携した急性期病院名をご記入ください。 _____ 病院 _____ 件
_____ 病院 _____ 件
_____ 病院 _____ 件

2. パス様式について

問3. 「安心ハート手帳」から受け取る情報量は十分でしょうか。

1. 少ない
2. ちょうどよい
3. 多い

問4. 問3でそれぞれ選択された理由をご記入ください。

()

問5. 「安心ハート手帳」について、何かお気づきの点がございましたら自由にご記入ください。

()

ご協力ありがとうございました。



アンケート結果 <急性期病院>

回答医療機関数13施設（届出医療機関数13施設）回収率：100%

（平成25年10月1日～平成26年3月31日の実績）

医療機関名	問1	問2	問3		問4	問5・問6		問7
	急性心筋梗塞による入院患者数（人）	うちパスの適応症例者	問2で「いた」を選択した場合のパス利用度及び件数		パスを利用しなかった理由	情報量について	その理由	その他
岡村一心堂病院	1人	いない	—		—	—	使用していないため不明	—
岡山医療センター	11人	いた	全員が利用	11人 （院外紹介11人）	—	ちょうどよい	”最低限のこと”しか医師が記入しなくてすむように運用している	ファイルより冊子の方がいいのかもしれない
総合病院岡山協立病院	25人	いた	全員が利用	9人 （院外紹介4人）	—	ちょうどよい	記載量と負担が適切	安心ハート手帳 日々の生活の記録で、高齢者の方々には、体重グラフが書けない方が多かったです。別に数字を記載する枠があればと思います。
岡山済生会総合病院	8人	いた	一部が利用	3人 （院外紹介2人）	医師主導で進める場合、他のパスと同様なかなか進まない。対象患者がかかりつけ医をもっているも、届出を出されていない医療機関が多い。	ちょうどよい	—	「安心ハート手帳」の内容的には問題ないと思いますが、普及に向けて、この地域での認知・盛り上がりが出ていないと思います。また、保険点数等での誘導も必要ではないでしょうか。
岡山市立市民病院	18人	いた	一部が利用	5人 （院外紹介1人）	死亡、認知症高度などで使用不可能	ちょうどよい	—	—
岡山赤十字病院	30人	いた	一部が利用	15人 （院外紹介14人）	年末退院となったため、対応できなかった。	ちょうどよい	患者さんに分かりやすい。ステントが入っている位置など一目で分かり、よいと思う。	—
岡山大学病院	9人	いた	一部が利用	8人 （院外紹介1人）	安心ハート手帳のことを知らなかった（院内での周知が図られていなかった）。	ちょうどよい	必要最小限だと思う	どこまで使用されているのか、相手方がどの様に感じているか、患者側の意見も知りたい。 ・やはり大きいと感じる。
岡山ハートクリニック	36人	いた	一部が利用	34人 （院外紹介30人）	患者の理解が得られなかった。	ちょうどよい	必要な情報が記入できているし、特に不自由に思ったことがないから。	—
岡山労災病院	28人	いた	全員が利用	23人 （院外紹介6人）	—	ちょうどよい	多すぎず、患者が理解しやすいと思います。	受診時のHbA1Cやコレステロール値を記入するスペースがあれば患者自身にも指標となりよいと思います。
心臓病センター榊原病院	87人	いた	一部が利用	25人 （院外紹介25人）	安心ハート手帳のことを知らなかった（院内での周知が図られていなかった）。	ちょうどよい	必要十分な量だと思います。	・パスを配布しやすいように、パスを配布するまでの流れ（システム）の例を紹介してもらえると助かります。 ・ポケットサイズの方が、携帯しやすいのではないかと思います。 ・体重記入をグラフ化に限定してしまうと、患者側としては記入に手間を感じるのではないかと思います。
川崎医科大学附属病院	58人	いた	全員が利用	16人 （院外紹介9人）	—	ちょうどよい	必要最低限であり、かつそれで患者の把握が可能である。	—
倉敷中央病院	94人	いた	全員が利用	56人 （院外紹介56人）	—	ちょうどよい	必要最低限の内容だから（しかし、これ以上は書けない）	—
津山中央病院	45人	いた	一部が利用	25人 （院外紹介20人）	・忙しくて手が回らなかった。 ・県外在住の方だったため。 ・重複障害があったため。	ちょうどよい	—	・かかりつけ医とやりとりする欄をつくった方がよい。 ・持参を忘れる事がある。運用についてもう少し分かりやすく ・そろそろバージョンアップしてもよいのでは
合計	450人			230人 （院外紹介179人）				

<参考・比較用 前回アンケート結果>

アンケート結果 <急性期病院>

回答医療機関数12施設（届出急性期医療機関数13施設）回収率：92.3%

（平成25年4月1日～9月30日の実績）

医療機関名	問1	問2	問3		問4	問5・問6		問7	
	急性心筋梗塞による入院患者数	うちパスの適応症例者	問2で「いた」を選択した場合のパス利用度及び件数		パスを利用しなかった理由	情報量について	その理由	その他	
岡村一心堂病院	13人	いない	利用なし	0人	使用機会がなかったため	不明			
岡山医療センター	—	—	—	—	—	—	—	—	
総合病院岡山協立病院	6人	いた	一部利用	1人 (院外紹介0人)	死亡evtの方のため	ちょうどよい		・狭心症も含め、対象者を増やすことができれば良い(当院では心筋梗塞での入院例が少ないため) ・心筋梗塞以外で心臓リハビリテーション教室を受けられる方に、冠動脈疾患パンフレットが別にあるか、ファイル毎配付できるような形があれば良い。 ・安心ハート手帳の日々の生活の記録がもう少し、枠が大きくなれば良い。	
岡山済生会総合病院	3人	いた	利用なし	0人	いまだ、院内の体制が固まっていない。医師主導で進める場合は、他のパスと同様なかなか進まない。現時点では、対象患者が、かかりつけ医を持っていても、届出を出されていない。	ちょうどよい		今後利用したうえで、考察していく。	
岡山市立市民病院	8人	いた	利用なし	0人	安心ハート手帳に対する医師の理解不足	ちょうどよい			
岡山赤十字病院	27人	いた	一部利用	21人 (院外紹介21人)	患者の理解が得られなかった	ちょうどよい	簡潔明瞭に記載できるため。		
岡山大学病院	8人	いた	一部利用	5人 (院外紹介3人)	忙しくて手が回らなかったため。	ちょうどよい	これ以上多くなると記入できないし、仕事量が増える、少なくなると情報量が少なすぎる。	大きさに対する不満がある。2種類あると良い。	
岡山ハートクリニック	31人	いた	一部利用	12人 (院外紹介0人)	患者の理解が得られなかった	ちょうどよい			
岡山労災病院	14人	いた	全員が利用	9人 (院外紹介2人)		—	ちょうどよい		
心臓病センター榊原病院	53人	いた	全員が利用	17人 (院外紹介16人)		—	少ない	栄養指導、薬剤指導に関する情報記入欄が無いため。	栄養指導、薬剤指導についての情報記入欄があれば良いと思う。
川崎医科大学附属病院	40人	いた	全員が利用	7人 (院外紹介5人)		—	ちょうどよい	急性期病院記入部分がかぎ分るように、頁の肩に色付けしてもいいかと思う。	ルーズリーフだと持ち運びが不便なので、B5以下の冊子型式がいいと思う。記録欄は「HbA1C」「LDL-C」「HDL-C」等が記入できると便利かと思う。「糖尿病手帳+血圧手帳」でしょうか。
倉敷中央病院	86人	いた	一部利用	27人 (院外紹介26人)	安心ハート手帳を配付したが、県外(福山)の病院でのフォローを希望されたため	ちょうどよい	必要最低限の項目であると思います。	高齢者ではADLは自立しているが、安心ハート手帳を自分で使用できる(活用できる)か、という観点では難しいのではないかと多い患者が多い。(当院での適応を見直す予定である。)	
津山中央病院	46人	いた	一部利用	20人 (院外紹介16人)	忙しくて手が回らなかったため。患者が施設へ転院したため。患者の理解力が乏しいため。患者が県外在住のため。	ちょうどよい	診療情報提供書が紹介医に送付されるので、患者が持ちまわる冊子の内容としては、ちょうどよいと思う。	「患者の日々の生活記録」の記入欄がもう少し大きいほうが記入しやすい。持参するのに大きすぎるとの意見あり。	
合計	414人			119人 (院外紹介89人)					

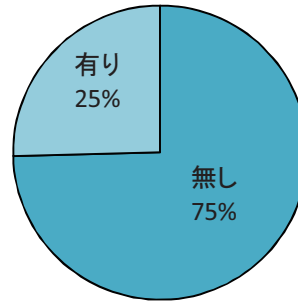
アンケート結果 <かかりつけ医療機関>

回答医療機関数 71施設 (届出かかりつけ医療機関数 112施設) 回収率：63%

問1 貴医療機関で「安心ハート手帳」の利用がありましたか。

1 有り	18
2 無し	53

「有り」とした18医療機関のうち、
前回の調査でも利用があった
医療機関
・・・8医療機関



問2 問1で「1 有り」を選択した方にお聞きします。

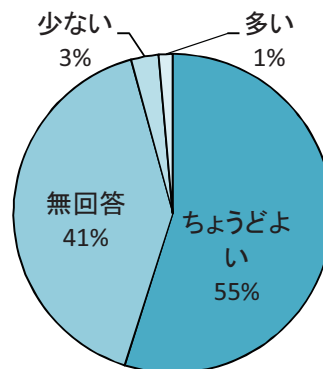
- ・パス利用件数 31件 (18医療機関)
- ・連携した急性期病院

岡山大学病院	:	2件	(1医療機関)
岡山済生会総合病院	:	2件	(2医療機関)
岡山赤十字病院	:	5件	(4医療機関)
心臓病センター榊原病院	:	1件	(1医療機関)
倉敷中央病院	:	17件	(8医療機関)
津山中央病院	:	4件	(3医療機関)

※1つのかかりつけ医療機関が複数の急性期病院と連携している場合もあるため、パス利用医療機関の計と連携した急性期病院の医療機関の計は必ずしも一致しません。

問3 「安心ハート手帳」から受け取る情報量は十分でしょうか。

1 少ない	2
2 ちょうどよい	39
3 多い	1
(不明・無回答)	29



問4 問3でそれぞれ選択された理由をご記入下さい。

<主な意見>

1 少ない

- ・あまり参考にならない
- ・造影所見、重症度、方針等

2 ちょうどよい

- ・診療に必要とする情報量として適切
- ・医師、看護師、臨床心理士、栄養士、理学療法士、検査、薬剤師等 少なくともないし、必要な情報は取れています。
- ・過不足ない情報量だと思います
- ・外来の限られた時間内でチェックするにはちょうどよい
- ・講演時に見たものはよいと思いました
- ・実際運用したことがないので、詳しくは分からないが、利用しやすそうでよいと思います。

問5 「安心ハート手帳」について、何かお気づきの点がございましたら自由にご記入ください。

<主な意見>

- ・かかりつけ医療機関で「心臓リハビリ」のできる体制のある所は、ほとんどないと思われます。患者が不安を抱かないように、自宅でのリハビリを原則として、急性期病院で十分な指導をしていただいた後に、かかりつけ医に紹介するパターンが必要と思います。
- ・病院側で手帳の意義を十分に伝えてください。患者側の理解不足があるようです。
- ・患者さん自身の意識が低いためか、持参される方がいません。サイズが大きすぎる事も関係しているかもしれません。
- ・患者さんに持ち運んでもらう場合にもう少し小さい方がいいとの意見がある。(同様の回答が複数あり)
- ・講演会などで知ってはいるが、使用経験なし
- ・使用例なく実感がない。

<参考・比較用 前回アンケート結果>

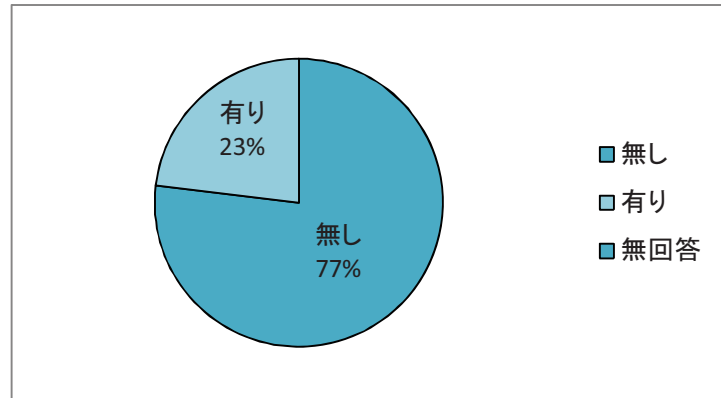
(平成25年4月1日～9月30日の実績)

アンケート結果 <かかりつけ医療機関>

回答医療機関数 78施設 (届出かかりつけ医療機関数 83施設) 回収率：86%

問1 貴医療機関で「安心ハート手帳」の利用がありましたか。

1 有り	18
2 無し	60



問2 問1で「1 有り」を選択した方にお聞きします。

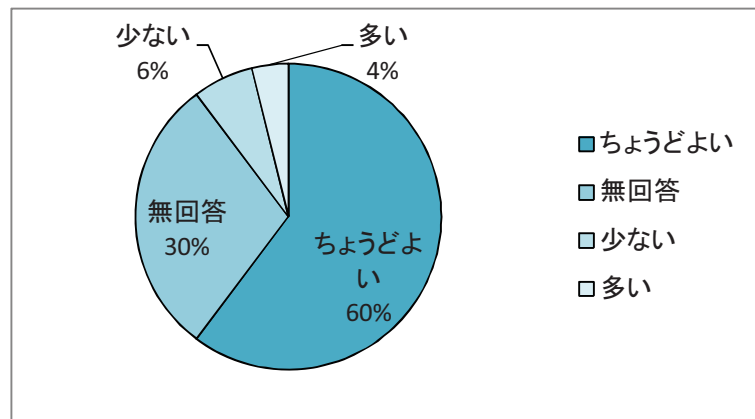
・パス利用件数 21件 (18医療機関)

・連携した急性期病院

倉敷中央病院	:	9件 (8医療機関)
総合病院岡山赤十字病院	:	6件 (5医療機関)
心臓病センター榊原病院	:	2件 (2医療機関)
津山中央病院	:	4件 (3医療機関)

問3 「安心ハート手帳」から受け取る情報量は十分でしょうか。

1 少ない	5
2 ちょうどよい	47
3 多い	3
(無回答)	23



問4 問3でそれぞれ選択された理由をご記入下さい。

<主な意見>

1 少ない

- ・紹介状の情報で充分である。
- ・DVDや心カテの画像情報が付いてくる急性期病院もあるため。

2 ちょうどよい

- ・わかりやすく、これ以上情報があると、全ての内容のチェックが難しくなる。
- ・気軽に利用できる
- ・ファイルなので持ち運びやすく、確認もしやすい。情報量も充分確保されている。
- ・専門的な方が作られたので、ちょうどよいのではと思う。
- ・診療中に記入できる範囲内である。
- ・導入されたばかりなので情報が多すぎても、対応しきれないのではと思う。
- ・患者さんが理解しやすそうだから。
- ・利用しやすく良いと思う。
- ・患者の状態が一目で分かるという意味では、良いのではないかと思う。

3 多い

- ・サイズも含めて、もう少しコンパクトになるとよい。
- ・情報量が多すぎて、少し分かりにくい。
- ・医療従事者にとっては十分な情報量だが、患者にとってはボリュームが多すぎる。

問5 「安心ハート手帳」について、何かお気づきの点がございましたら自由にご記入ください。

<主な意見>

- ・多職種で支えていくことがよくわかる冊子だと思う。内容も字の大きさも良い。
- ・この冊子を落とした時の連絡先(個人ではなく、発行した病院)への連絡方法があればいい。
- ・まだ見た事がない。
- ・軽症から重症、安定から不安定といった、それぞれの病態がわかりにくく感じる。

<25年度第2回会議資料より抜粋>

「多職種を対象とした岡山県急性心筋梗塞医療連携パス説明会」での主な質疑

(Q1) 連携パスに歯科の関わる項目を入れてほしい。

急性期病院で口腔ケアができないのは理解しているが、回復期の段階でかかりつけの歯科医がワーファリン使用を理由に治療を断るようなケースも見られる。

治療の経過で、かかりつけ医等が「口腔ケアを行うよう指導を行う」といった項目を追加することはできないか。

(回答) 歯周ポケットの深い人は心疾患のリスクが高まることも知られており、歯科は重要な項目である。検討課題としたい。

岡山県の糖尿病パスには歯科の項目が設けられている。

(Q3) パスは急性期病院からスタートすると思うが、どういった病院が参加しているのかは確認できるのか。

(回答) 参加医療機関は県庁医療推進課のホームページ上で公表している。まだまだPR不足と思うので、周知方法についても検討していきたい。